

豊橋技術科学大学の学生を迎えて実務訓練を実施しました。



INTERNSHIP

実務訓練生

豊橋技術科学大学 4年 池田 将基さん

実務訓練テーマ

『金型設計に必要な金型構造と加工工程の習得』

実務訓練期間

令和5年1月10日～2月24日

実務訓練指導責任者

技術部課長 黒谷 喜徳



令和5年1月10日（火）より豊橋技術科学大学機械工学課程4年の池田将基さんを実務訓練生として受け入れを実施しました。池田さんには2月24日（金）までの期間中、『**金型設計に必要な金型構造と加工工程の習得**』について実務を経験していただきました。



黒谷課長 池田さん

技術部 黒谷課長 談

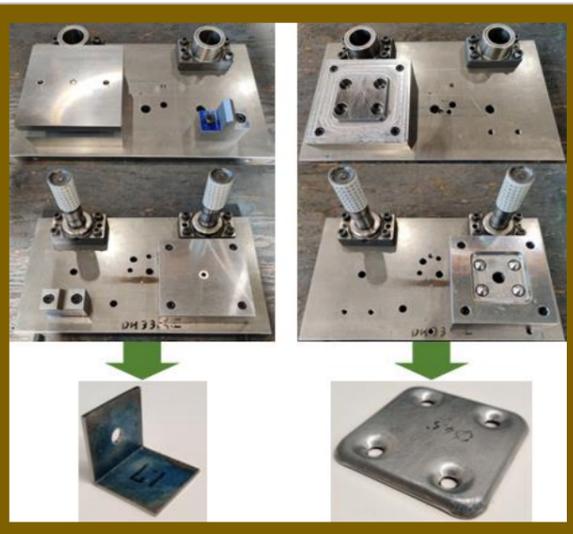
不慣れな環境で2ヶ月間大変ご苦労様でした。

実務訓練として 製品設計→その製品を作るための金型設計→金型部品加工→金型組付け→金型トライ→出来上がった製品の測定 というモノづくりの最初から最後までを1人で行って頂きました。金型は初挑戦ということでしたが全てそつなくこなされていて技科大生のレベルの高さを実感致しました。最終日のプレゼンについても大変よくまとめられており、私たちも新しい気づきがありました。この経験をこれからの社会人生活に活かして頂ければ我々も光栄です。

これからもチャレンジ精神をもって頑張ってください。

池田さん 談

技術部に配属いただき、金型の設計・加工・組付・製品製作までを受け持たせて頂きました。実際の現場では、学校で学べる事の応用や全くの別手法を用いることを臨機応変に求められ、悪戦苦闘しながら多くの学びを得た2か月間となりました。特に設計・製図においては、「現場の工具・工作機械まで考慮した設計、作業者が理解しやすい製図」がどの様なものであるかを知り、高専・大学の6年間を通して学んだものとは別視点の知識を学べました。今回得られた学びを今後の研究や将来の社会人生活に活かしていきます。短い期間でしたが誠にありがとうございました。



2ヶ月間で製作した金型と完成品



河村教授による履修状況の視察を実施致しました。



フライス加工の現場実習

プレゼン終了後社長始め社員の皆さん



最終日のプレゼン **ブラボー!**



社長からの激励の挨拶